

授業の具体的展開例

学習記録と比較し、変化の様子をとらえる

T：一週間前のサクラの様子と比べて観察しましょう。

—サクラの枝の観察とフリートーク—

T：観察し分かったことや気付いたことを出し合いましょう。

C：花がもう全然無かったね。

C：葉の枚数が増えていたね。

T：前回と比べてどれくらい増えていましたか？

C：前回は15枚で、今回は32枚もありました。17枚も増えていました。

C：前回の観察では、花が散りかけていたのに「つぼみ」のようなものがあっただけけれど、あれが葉のもとだったのかなあ。

T：前回の写真があれば見てみるといいね。

C：あっ、やっぱりこれが葉になったんだ。同じところから葉が出ているよ。

C：枝は伸びていなかったね。

C：葉の色が変わっていたよ。

T：どんな風が変わっていたのかな。

C：前は薄い黄緑色だったけれど、今回は緑色になっていました。

T：ほかに何かありますか。

C：わたしが観察した枝だけじゃなくてサクラの木全体が変化していたと思います。

C：幹や枝の太さや長さには変化がなかったよ。

C：先生、気温が前回に比べて高くなっていますが、枝の変化と関係があるのかな。

C：これから夏に向けて、気温は上がるので、これからどう変わっていくのか、楽しみだなあ。

T：それでは、今みんなの話にもあった気付いたことを、ノートにまとめましょう。その時に比べてどう変わったのかが分かるように書きましょう。

「活用」の力を育てる評価の工夫

活用する力を育てる上でのポイント

- ◆ 学習記録をもとに比較して観察することで、変化の様子をとらえさせることができる。また、それを新たな学習記録として、今後の継続観察の中で活用する。
- ◆ 観察の中で出てきた新たな疑問は、次の観察への意欲や関心を高め、継続観察において重要な課題となる。新たに出てきた課題を、ワークシートやノートに記録しておく必要がある。

「活用」の力を育てる評価の視点

観察の視点を明確にするために「学習記録」を活用し、比較することができるようにする。そのために、学習記録に有用感を持ち、進んで詳しく記録できる児童に育てたい。
そのための視点として、

- ① 前時の記録と比較して、変化の様子を捉えることができているか。
 - ・花が散って少なくなってきた。
 - ・葉が大きくなり、数が増えている。
- ② 前時の学習から、関連付けたり、視点を広げたりしながら課題意識を持ち、自ら学習のねらいを考えることができているか。
 - ・気温がだんだん高くなってきていることと関係があるのだろうか。
 - ・自分が観察した枝だけでなく、サクラの木全体が変化してきている。

児童のノート例

[今日のねらい]

一週間前とくらべて、サクラのえだはどうなっているだろう。

- ・花がちって無くなっていた。
- ・葉がふえていた。
- 前回…小さいのが10枚
- 今回…大きいのが32枚
- ・葉の色がこい。
- ・花がちりはじめると、葉が出てくるのが分かった。
- ・えだの長さは変わっていない。



○一週間前より気温が高かった。サクラの成長にどんな関係があるのかな。